

# 決算状況をお知らせします



☎ 財政課 ☎086-803-1146 ☎086-803-1735 ✉zaiseika@city.okayama.lg.jp

岡山市では、積極的に行財政改革を進めてきた結果、**財政指標は総じて健全に推移**しているところです。今後も「岡山市第六次総合計画」に基づく各般の政策を推進し、基本目標である「未来へ躍動する 桃太郎のまち岡山」の実現に向けて都市の持続的な発展を財政面で支えていく必要があります。

しかし、本市を取り巻く環境は、人口減少、少子高齢化の進行に伴う社会保障関係経費の増加や公共施設などの老朽化への対策に加え、激甚化・頻発化する自然災害や、ロシアによるウクライナ侵攻に起因する国際情勢の悪化、収束が見えない新型コロナウイルス感染症への対応などにより、市税収入などの一般財源の動向は一層不透明感を増しており、**財政は予断を許さない状況**にあります。

このような状況に対応するため、引き続き行財政改革を推進し、将来世代に負担を先送りすることがないように、財源調整基金の残高を一定程度保ち、市債の残高や指標にも留意しつつ、**財政運営の健全性を確保した上で、市民福祉の向上とまちの発展を実現していきます。**

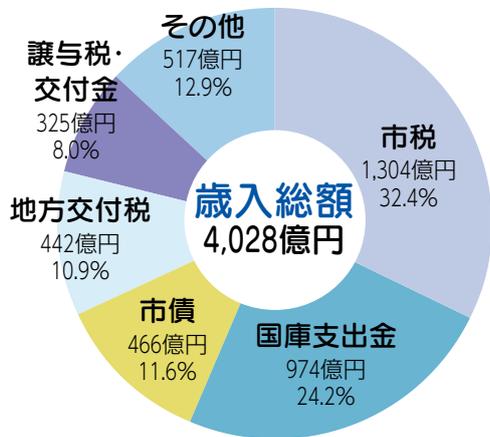
## 令和3年度決算について

市の会計は、基本的な経費を経理する「**一般会計**」と、特定の事業を経理する「**特別会計**」や「**事業会計**」で構成されています。ここでは、地方公共団体同士を比べるために用いる「**普通会計**」（一般会計に公債費特別会計など一部の特別会計を合算したもの）について**決算状況のあらましを説明**します。

## 普通会計の歳入歳出

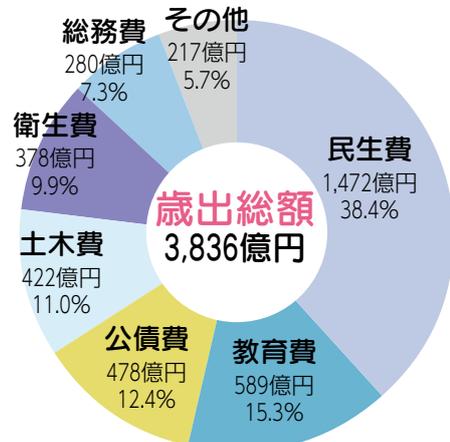
### 歳入

令和3年度の歳入決算額のうち、市民の皆さんに納めていただいた市民税・固定資産税などの**市税収入**は、**1,304億円で歳入全体の32.4%**を占めています。

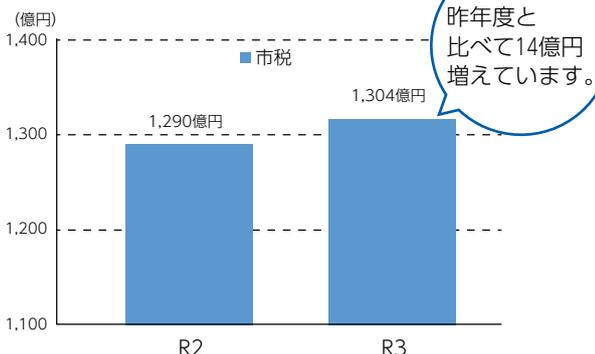


### 歳出

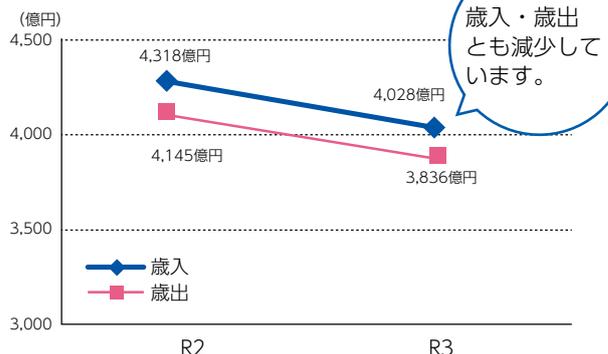
令和3年度の歳出決算額を目的別に分類すると、**福祉のための経費である民生費が38.4%と最も多く**、続いて教育費が15.3%、公債費が12.4%、土木費が11.0%などとなっています。



### 市税収入



### 歳入歳出決算額の推移



## 健全化判断比率4指標などの状況

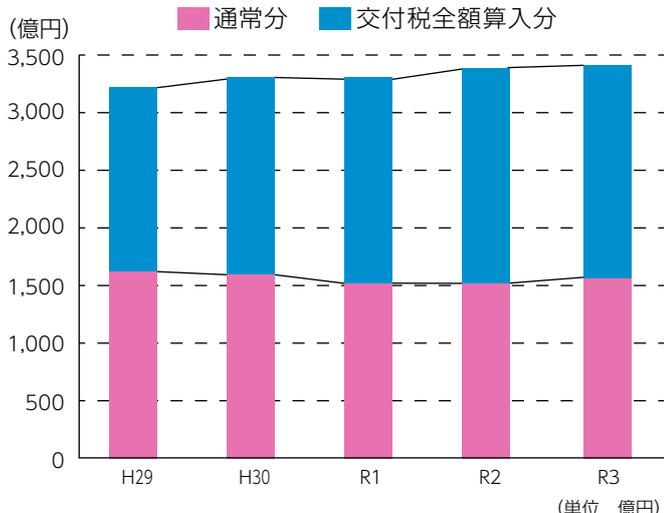
「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、財政の健全性に関する比率を公表しており、岡山市は令和3年度決算において健全化判断比率4指標および資金不足比率の全ての基準をクリアしています。

	良い	悪い
<b>実質赤字比率</b> 一般会計などに生じている赤字の大きさを、市の財政規模に対する割合で表したもの	★…市の値 ★実質赤字額なし	早期健全化基準 11.25%
<b>連結実質赤字比率</b> 公営企業を含む全会計に生じている赤字の大きさを、市の財政規模に対する割合で表したもの	★連結実質赤字額なし	16.25%
<b>実質公債費比率</b> 市の借入金（地方債）の返済額（公債費）の大きさを、市の財政規模に対する割合で表したもの	★5.1%	25%
<b>将来負担比率</b> 市の借入金（地方債）など現在抱えている負債の大きさを、市の財政規模に対する割合で表したもの	★実質的な将来負担額なし（※）	400%
<b>資金不足比率</b> 公営企業の資金不足を、料金収入の規模と比較して指標化し、経営状態の悪化の度合いを示すもの	★資金不足額なし	20% 経営健全化基準

（※）将来負担比率は、充当可能財源等が将来負担額を上回り、算定されない

## 「市債」残高の推移

※市債…長期的な借入金



	H29	H30	R1	R2	R3
普通会計市債残高	3,207	3,290	3,280	3,369	3,377
■ 交付税全額算入分	1,603	1,720	1,787	1,867	1,778
■ 通常分	1,604	1,570	1,493	1,502	1,599

## 財源調整のための「基金」残高

※基金…特定の目的のために維持している財産

	残高 (前年度からの増減)	説明
財政調整基金	207億円 (+9億円)	年度間の財源不足に備える目的で設置している基金で、市税の歳入の増減や災害への対応など、財源が不足する年度に活用します。
市債調整基金	15億円 (+1億円)	市債の償還に必要な財源を確保する目的で設置している基金で、償還期限を繰り上げて市債の償還を行う場合や、年度によって市債の償還が多額になる場合に活用します。
公共施設等整備基金等	168億円 (±0億円)	防災・減災事業や施設の老朽化などに対応する目的で設置している基金です。

※財源調整のための取り崩しを行った一方で、令和2年度決算の剰余金積立てなどを行った結果、前年度と比べ10億円の増加となっています。



詳細は、財政課ホームページ内の「令和3年度決算（案）の概要」、  
「岡山市の財政状況 [第24版] 」をご覧ください。



「宝くじ」は身近なまちづくりに役立てられています！

岡山県内で販売された宝くじの収益金は、岡山県および岡山市の収入になります。

宝くじは、岡山県内で買ってね！

